

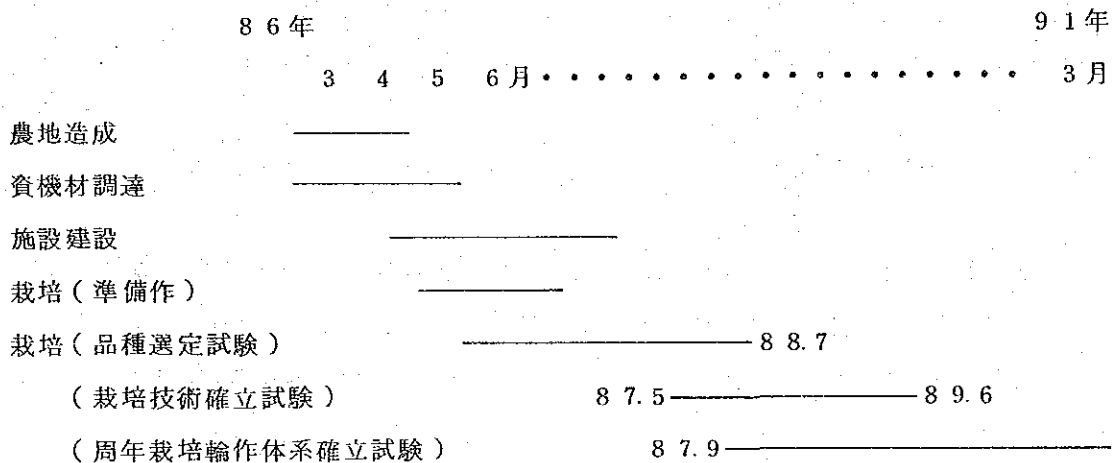
Ⅵ 事業実施計画

本計画は、試験事業の規模のまま、試験の成果をふまえて行う継続事業をも含めたものである。

亜熱帯低地に位置する珠海での野菜栽培は、①気候②病虫害③生産性④価格など、影響の予測が困難な要因が多い。したがって事業を進めるに当っては、気候・経済など諸要因の変化や、あるいは新たな要因の追加があれば、それらに応じた修正が必要になることはいうまでもない。また、本計画では多くの資機材を日本から調達する形をとっており、インフレ等支出面で考慮すべき事項があり、これらの条件を加味した長期計画の立案は容易な作業ではない。ここでは、一応1985年5月時点での価格をベースに諸試算を行った。

1. 実施スケジュール

1986年の雨期開始期の準備作（緑肥ソルガム）を皮切りに野菜栽培試験を始めるとしたスケジュールは次のとおり。



2. 試験の内容と方法

1) 内容と方法

本試験事業は輸出用高品質野菜の周年安定生産技術の確立を目指すものである。現地の農業生産環境は厳しいものがあり、既存の農業技術では栽培が困難な時期の栽培を実現したり、新規作目の導入を可能とするには、保温や雨除けのための施設の導入が求められる。また、野菜栽培経営の安定化もあわせて考慮すると、対象作物固有の栽培技術確立とともに a 土壌物理・化学性の改良 b 異なる野菜作目（科）との輪作、クリーニング・クローブ導入による連作障害などの回避 c 施設・資材の有効（周年）利用——などに対する

取組みが必要となる。

これらの点を踏まえ、a 試験野菜の栽培は1ほ場では年1回とし、異なる野菜作目を輪作する。b 有機物の多投につとめるとともにクリーニングクロープとしてソルガムを3年に1度導入——という形で栽培試験を実施する。

(品種選定試験=1-2年度)

イチゴ、メロン、レタス、セルリ、トマト、ピーマンの有望品種をそれぞれ5品種ずつ導入し、季節にあった品種の大雑把な検討に供する。試験の区画規模は平均約40本、反復は2回とする。施設は、イチゴ、レタス、セルリはトンネル、アールスメロン・ハネデュー系メロンはハウス、ハウス型メロン、トマト、ピーマンはパイプハウスを用いる。1年度は、植付期はイチゴ=秋-冬に3回、メロン類=春、秋、冬に1回ずつ3回、レタス=春、夏、秋に1回ずつ3回、セルリ=春、夏、秋に1回ずつ3回、トマト=春-秋に3回、ピーマン=秋、冬、春に1回ずつ3回とする。

2年度の実施は1年度の試験結果から供試品種の絞り込みや植付期のずらしを考慮して行うものとする。

供試品種は

イチゴ	はるのか、とよのか、てるのか、大石四季成 掘田ワンダー
アールスメロン・ハネデュー系メロン	東海G13、東海G35、東海578 PF70、ハネジュ
ハウス型メロン(ネット型)	まつみどり、ふかみどり、アムス、アンデス、 ボ-ナス ※場合によりノーネット型も考慮(アリス、 スーパー、ナイス、ドリーム、しらゆき)
レタス(結球型)	サクラメント、シスコ、バラード、カーメル キングシスコ ※場合により非結球型も考慮(テルミー、サマ- グリーン、レッドウェーブ、オークリーフ パピロン)
セルリ	トップセラー、コーネル、トールユタ、スタル タン、ソートレーク
トマト	桃太郎、タイムリー、フローラ、サタン、黄寿
ピーマン	エース、ワンダーベル、ゴールデンベル、満作 緑玉

供試施設は 下記のとおり。

植付時期は、(初年度は下記、2年度は初年度の結果を考慮)

イチゴ	秋～冬に3回
アールスメロン ハウス型メロン	} 春, 秋, 冬に1回ずつ
レタス セルリ	
トマト	春～秋に3回
ピーマン	秋, 冬, 春に1回ずつ

栽培法は

肥培管理は P. 92～99に示した。

栽植密度は 下記のとおり。

品種選定試験(1-2年度)			所要施設
1. イチゴ	1区画10平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 300平米 0.2平米/株	30区分	トンネル × 6 (54平米/本)
2. アール系・ハウス型メロン	1区画10平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 300平米 0.4平米/株	30区分	ハウス × 3 (216平米/本)
3. ハウス型メロン	1区画50平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 1,500平米 2.5平米/株	30区分	パイプハウス × 9 (216平米/本)
4. レタス	1区画10平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 300平米 0.1平米/株	30区分	トンネル × 6 (54平米/本)
5. セルリ	1区画10平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 300平米 0.2平米/株	30区分	トンネル × 6 (54平米/本)
6. トマト	1区画10平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 300平米 0.4平米/株	30区分	パイプハウス × 3 (216平米/本)
7. ピーマン	1区画20平米×5品種×植付期3区分×施設1区分×2反復 = 600平米 0.6平米/株	30区分	パイプハウス × 3 (216平米/本)

* イチゴは1年度のみ

3,600平米	210区分	トンネル × 18 (54平米/本)
		ハウス × 3 (216平米/本)
		パイプハウス × 15 (216平米/本)

(栽培技術開発試験)

a 施設選定試験 = 2年度

1年度に絞り込んだ品種(品種, 栽培期により品種が異なることあり)を対象に各栽培期間毎に必要な施設は何かを適当かを検討する。区画規模は, 平均約40本, 反復は2回とする。植付期は, メロン類=秋-春に5回, レタス=春-秋に3回, セルリ

＝春－秋に3回，トマト＝春－秋に3回，ピーマン＝秋－冬に3回とし，施設は，アールスメロン・ハネデユ系メロン＝パイプハウス2種，ハウス型メロン＝大型トンネル2種，パイプハウス1種の計3区分，レタス＝トンネル1種，セロリ＝トンネル1種，トマト＝トンネル2種，パイプハウス1種の計3区分，ピーマン＝大型トンネル2種，パイプハウス1種の計3区分とする。

供試品種は

植付期ごとに，1年度（品種選定試験）の結果から1品種を選定。

供試施設は

下記のとおり。

植付時期は

1年度（品種選定試験）の結果から，上記の季節に設定した回数を実施。

栽培法は

品種選定試験と同じ。

栽培技術開発試験		所要施設	
a. 施設選定試験（2年度）			
1. アールスメロン・ハネデユ系メロン	1区画10平米×1品種×植付期5区分×施設2区分×2反復＝ 0.4平米/株	200平米 20区分	パイプハウスa x 5 パイプハウスb x 5
2. ハウス型メロン	1区画50平米×1品種×植付期5区分×施設3区分×2反復＝ 2.5平米/株	1,500平米 30区分	パイプハウスb x 5 大型トンネルa x 5 大型トンネルb x 5
3. レタス	1区画10平米×1品種×植付期3区分×施設1区分×2反復＝ 0.1平米/株	60平米 6区分	トンネルb x 3
4. セロリ	1区画10平米×1品種×植付期3区分×施設1区分×2反復＝ 0.2平米/株	60平米 6区分	トンネルb x 3
5. トマト	1区画10平米×1品種×植付期3区分×施設3区分×2反復＝ 0.4平米/株	180平米 18区分	パイプハウスb x 3 トンネルa x 3 トンネルb x 3
6. ピーマン	1区画20平米×1品種×植付期3区分×施設3区分×2反復＝ 0.6平米/株	360平米 18区分	パイプハウスb x 3 大型トンネルa x 3 大型トンネルb x 3
* 試験Aと重複する施設は本試験では除外した		2,360平米	98区分
* 施設のaは日本より調達 bは現地で調達			トンネルa x 3 = 162 トンネルb x 9 = 486 大型トンネルa x 8 = 864 大型トンネルb x 8 = 864 パイプハウスa x 5 = 1,080 パイプハウスb x 16 = 3,456
b 栽植密度・仕立法試験＝2年度			

メロン類のみを対象に行う。1年後に絞り込んだ品種（品種，栽培期により品種は異なることあり）を対象に，各栽培期（秋－春に3回植付）ごとに有利な栽植密度・仕立法について検討する。区画規模は20－25本，反復は2回とする。栽植密度・仕立

法は品種系統ごとに9区分。

供試品種は

植付期ごとに、1年度(品種選定試験)の結果から1品種を選定。

供試施設は 62ページのとうり。

植付時期は

1年度の結果から上記の季節に設置した回数を実施

密度・仕立法以外の栽培法は

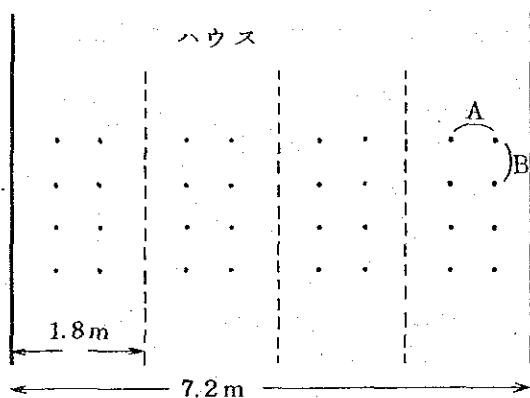
品種選定試験と同じ。

密度・仕立法は 以下に示した。

栽植密度・仕立法区分

(アールスメロン系・ネージュ系メロン)

栽植密度



Aは40cmで一定

Bを 45cm(標準)
40cm
50cm

3区分

仕立(支柱仕立)

主づるを摘心(1株1果)

子づるの発生節位を第12節(標準)

第10節

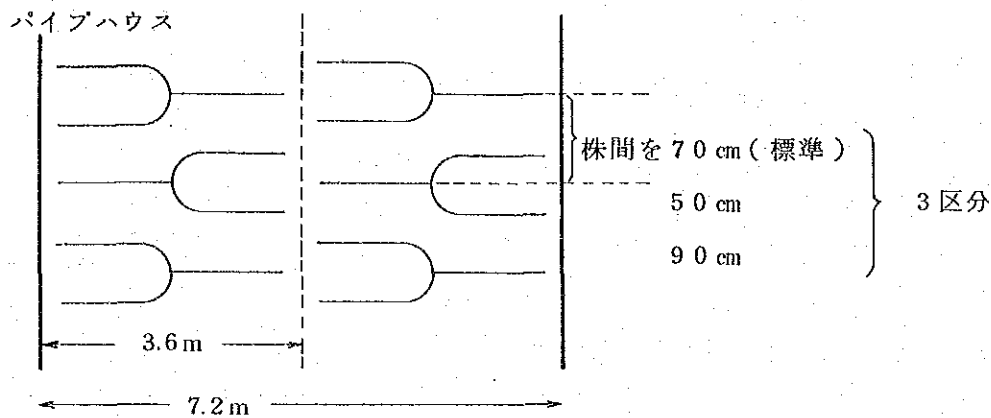
第14節

3区分

密度3区分, 仕立3区分の組合せで9区分

(ハウス型メロン)

栽植密度



仕立(這作り)

主づるを摘心(メロンは1株6果)

子づる3本仕立

1番果を着果させる節位を第14節(標準)

第12節

第16節

3区分

密度3区分, 仕立3区分の組合せで9区分

c 育苗試験=2-3年度

イチゴのみを対象に行う。異なる条件(3区分)で育苗した有望5品種を植付, 作期拡大を検討する。区画規模は50本, 反復は2回とし, 施設はトンネルを用いる。

育苗法のみ, 1年度の品種選定試験と異なる。新規導入作物であり, 栽培技術の確立が困難なことも予想されることから, 供試品種は暖地型5品種で行なう。

育苗法は(収穫期を広げるため)

1. シャ光して花芽分化を促進
2. 保温して花芽分化を抑制
3. ジベレリン処理により花芽分化を促進

B. 栽培技術開発試験		所要施設	
b. 栽植密度・仕立法試験 (2年度)			
1. F-4系・n27°系×モン	1区画10平米×1品種×植付期3区分×密度・仕立9区分×2反復 = 540平米 0.4平米/株	54区分	ハウス × 3
2. n27°系×モン	1区画50平米×1品種×植付期3区分×密度・仕立9区分×2反復 = 2,700平米 2.5平米/株	54区分	パイプハウスa × 15
c. 育苗試験 (2-3年度)			
1. イチゴ	1区画20平米×5品種×育苗法3区分×2反復 = 300平米 0.2平米/株	30区分	トンネルa × 6 (試験Aで用いたものを 利用する)
		3,540平米 138区分	ハウス × 3 パイプハウスa × 15

(周年栽培輪作体系確立試験 = 3-4年度)

1-2年度の試験結果から対象作物の適応栽培期間と必要施設が概定される。この結果をベースに、導入する施設ごとに有利な輪作体系の検討に資する。区画規模は、ハウス、パイプハウスは1棟分の216平米、大型トンネル、トンネルは108平米。1-2年度に用いる施設を全て利用して反復は区画により1-2回。

1~2年の結果をもとに、試験の実施が検討されるが、一応、ここでは、考え方を示した。

一応の作付の流れは、P.64~69に示したようになる。

周年栽培輪作体系確立試験 (3-4年度)		所要施設	
1. ハウス	1区画216平米×輪作6区分×1反復 = 1,296平米	6区分	ハウス × 6
2. パイプハウス	1区画216平米×輪作21区分×2反復 = 9,072平米 1区画216平米×輪作9区分×1反復 = 1,944平米	51区分	パイプハウスa,b × 51
2. 大型トンネル	1区画108平米×輪作4区分×2反復 = 864平米 1区画108平米×輪作8区分×1反復 = 864平米	16区分	大型トンネルa,b × 16
3. トンネル	1区画108平米×輪作3区分×2反復 = 648平米 1区画108平米×輪作9区分×1反復 = 972平米	15区分	小型トンネルa,b × 30
		15,660平米 88区分	ハウス × 6 パイプハウスa,b × 51 大型トンネルa,b × 16 小型トンネルa,b × 30

*反復に1回と2回とがあるのは、本試験のための
施設増設はせずに1-2年度に用いた施設を利用するため

2) 施設と作付

施設ごとの作付スケジュールを次ページ以降に示した。

周年栽培輪作体系確立試験は、1～2年の実施結果をもとに考える。ここでは一応の流れを示してある。

施設ごとの作付計画(1)

	'86												'87												'88												'89												'90																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																																					
ハブス底																																																																								
1	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						
2	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						
3	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						
4	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						
5	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						
6	(ソルガム)	$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$												$\frac{\text{ア.ハ.メ}}{\text{A}}$																						
		ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ												ア.ハ.メ																						

※ A, B, Cは試験名
 A. 品種選定試験
 B. 栽培技術開発試験
 C. 輪作体系確立試験

※(1)の作付は、イサゴ(5か月)を除き、ソルガムも含めて4か月を
 みる。作付困難期に当たらない限り、計画の実行は可能。作付困
 難期の作付は、上記表でイサゴのみを考慮しているか、他の作物で
 は作付期をずらすことになる。

施設ごとの作付計画(3)

施設	'86												'87												'88												'89												'90											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イ																																																												
ア																																																												
ハ																																																												
レ																																																												
セ																																																												
ト																																																												
ビ																																																												
ソ																																																												

施設	87年度												88年度												89年度												90年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イ																																																
ア																																																
ハ																																																
レ																																																
セ																																																
ト																																																
ビ																																																
ソ																																																

施設ごとの作付計画(4)

施設名	'86												'87												'88												'89												'90											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大型トンネルa	ソ																																																											
大型トンネルb	ル																																																											
	ガ																																																											
	△																																																											

大型トンネルb

施設名	85年度												86年度												87年度												88年度												89年度												90年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8																								
イ	イ																																																																							
チ	チ																																																																							
ゴ	ゴ																																																																							
ア	ア																																																																							
ハ	ハ																																																																							
ハ	ハ																																																																							
レ	レ																																																																							
セ	セ																																																																							
ト	ト																																																																							
ビ	ビ																																																																							
ソ	ソ																																																																							

施設ごとの作付計画(5)

	'86												'87												'88												'89												'90												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
1	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-1
2	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-2
3	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-3
4	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-4
5	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-5
6	イチゴ A												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												イチゴ B												C-6
7	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-7
8	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-8
9	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-9
10	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-10
11	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-11
12	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-12
13	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-13
14	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-14
15	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-15
16	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-16
17	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-17
18	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-18
19	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-19
20	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-20
21	レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												レタス A												C-21

施設ごとの作付計画(6)

	'86												'87												'88												'89												'90												'91																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																																											
小型トンネルb系																																																																														
1	レタス												レタス												レタス												(トマト)(イチゴ)(トマト)(レタス)(イチゴ)(トマト)(ソルガム)(レタス)												C-11																													
2	レタス												レタス												レタス																																																					
3	レタス												レタス												レタス												(イチゴ)(セルリ)(レタス)(イチゴ)(セルリ)(ソルガム)(レタス)												C-12																													
4	セルリ												セルリ												セルリ												(トマト)(レタス)(セルリ)(トマト)(レタス)(セルリ)(ソルガム)(トマト)(レ												C-1																													
5	セルリ												セルリ												セルリ												(セルリ)(トマト)(イチゴ)(セルリ)(トマト)(イチゴ)(セルリ)(ソルガム)(トマト)												C-2																													
6	セルリ												セルリ												セルリ												(セルリ)(レタス)(トマト)(セルリ)(レタス)(トマト)(ソルガム)(セルリ)												C-3																													
7	トマト												トマト												トマト																																																					
8	トマト												トマト												トマト																																																					
9	トマト												トマト												トマト																																																					
	86年度	87年度	88年度	89年度	90年度	91年度																																																																								
イチゴ	-	-	-	6	-	-																																																																								
ア・ハ・メ	-	-	-	-	-	-																																																																								
ハ・メ	-	-	-	-	-	-																																																																								
レタス	-	3	5	7	6	6																																																																								
セルリ	-	5	5	5	7	7																																																																								
トマト	-	5	5	7	-	-																																																																								
ピーマン	-	-	-	-	-	-																																																																								
ソルガム	9	-	-	-	-	-																																																																								

3. 農場建設，資機材調達計画

1) 農場レイアウト

前出野菜園の造成の節で示された，ほ場配置概念図，ほ場利用模式図，通路・フェンス・防風林等の配置模式図，排水体系模式図，かん水体系模式図にしたがって，諸施設を建設・設置する。

2) 農場建設

① 土壤改良

前述のように，造成後の表土は掘削土に砂を混入したものであり，化学性・物理性の改良が必要である。このため石灰，リン酸，化学肥料，有機質（堆肥6トン/10a）を投入する（砂の混入と平行的に行う）とともに，緑肥栽培，心土破碎を実施する。

所要費用は次のように見積られる。対象面積は242a（施設面積156.6aに通路などを加えたもの）。

土壤改良資材購入

石灰	$1 \text{ トン} / 10 \text{ a} \times 242 \text{ a} \times 20,000 \text{ 円} / \text{トン} = 484,000 \text{ 円}$
ようりん	$0.5 \text{ トン} / 10 \text{ a} \times 242 \text{ a} \times 85,000 \text{ 円} / \text{トン} = 1,028,000 \text{ 円}$
化学肥料（15-15-15）	
	$0.1 \text{ トン} / 10 \text{ a} \times 242 \text{ a} \times 135,000 \text{ 円} / \text{トン} = 326,700 \text{ 円}$
あわせて	<u>1,839,200 円</u>

改良剤撒布，すき込み

$$\begin{aligned} & (242 \text{ a} \div 40 \text{ a} / \text{時} + 242 \text{ a} \div 15 \text{ a} / \text{時}) \times 968 \text{ 円} / \text{時} \times 1.30 \\ & \quad \text{(撒布)} \qquad \qquad \qquad \text{(すき込み)} \qquad \qquad \qquad = \underline{27,920 \text{ 円}} \end{aligned}$$

ソルガム栽培，すき込み

$$10,260 \text{ 円} / 10 \text{ a} \times 242 \text{ a} = \underline{248,290 \text{ 円}}$$

心土破碎

$$242 \text{ a} \div 15 \text{ a} / \text{時} \times 968 \text{ 円} / \text{時} \times 1.30 = \underline{20,300 \text{ 円}}$$

土壤改良に用する費用は 2,135,710 円

② 通路設置

ほ場の通路設置模式図（P25）に示すように，基幹通路（幅4m，延長330m），ほ場間通路（幅3m，延長770m），ほ場内通路（幅2m，延長600m）を設置する。路面がほ場面より低くなるようにブルドーザで土削除・ちん圧などを行い，路面は砂利敷きとする。

所要費用は次のように見積られる。

ブルドーザ作業

土削除・ちん庄はテラス造成作業におり込んで実施する。

砂利購入（量は $4\text{ m} \times 330\text{ m} + 3\text{ m} \times 770\text{ m} + 2\text{ m} \times 600\text{ m}$ を 5 cm の厚さでカバーするとして 242 m^3 ）

$$3,500\text{ 円}/\text{m}^3 \times 242\text{ m}^3 = \underline{847,000\text{ 円}}$$

砂利搬入（ダンプ）

10 km 離れた砕石場より搬入するとして

8 トン積ダンプ1回の運搬量は 5 m^3

1 時間に1回、1日（10時間）に10回、 50 m^3 運搬

運搬費用は

$$40,000\text{ 円}/\text{日} \times 242\text{ m}^3 \div 50\text{ m}^3/\text{日} = \underline{193,600\text{ 円}}$$

労務者備上費として

$$500\text{ 円}/\text{人日} \times 50\text{ 人日} = \underline{25,000\text{ 円}}$$

所要費用は 1,065,600円

③ 排水施設設置

ほ場内、周辺からの排水体系模式図（P27）で示したように基幹排水路（框棚溝、幅1 m、深さ1 m、延長300 m）、排水路（コンクリート製U字溝、幅30 cm、延長1,650 m）および遊水（土堤、コンクリート被覆の排水せき）を設置する。

所要費用は次のように見積られる。

框棚溝掘り（入力）

1人日 1 m^3 の溝掘り能力として

$$300\text{ 人日} \times 500\text{ 円}/\text{人日} = \underline{150,000\text{ 円}}$$

U字溝設置

1 m 当り 500 円と見積られ

$$1,650\text{ m} \times 500\text{ 円} = \underline{825,000\text{ 円}}$$

遊水地土堤盛り

テラス造成時の作業の中におり込んで実施する。

排水せき設置

土堤を被覆するコンクリートを 10 m^3 用いる。生コン、型枠、生コン打設にかかる費用は $50,000\text{ 円}/\text{m}^3$ と見積られ

$$10\text{ m}^3 \times 50,000\text{ 円}/\text{m}^3 = \underline{500,000\text{ 円}}$$

所要費用は 1,475,000円

④ かん水施設

ほ場内のかん水体系模式図（P29）に示すように、ポンプ用地から各ほ場区画内に

細区分したところまでの、かん水網を整備する。井戸（直径2m、深さ15m程度）を掘削してかん水源とし、貯水タンク、揚水ポンプ、ブースターポンプ、取水管・蛇口を設置するとともに、幹線通路・ほ場間通路の下（地下1m）に幹線・支線送水管を埋設する。

かん水施設設置費用は、現地駐在日本企業により 14,000,000円 と見積られている。

3) 園芸施設設置

事業に要する園芸施設の種類ごとの規模、設置作業内容および費用は次のとおりである。

① ビニールハウス

216㎡のハウス（プラスチックフィルム張、鉄骨、屋根型）を6棟（2連棟を3つ）建設する。設置面積は1,296㎡で、コンクリート基礎工事と鉄骨材組立およびフィルム張りをを行い、自動換気装置を設備する。

自動換気装置を設備する。

所要費用は、

本体資材費	7,905,600円（6,100円/㎡）
換気装置購入費	1,639,200円（136,600円/台、4台）
本体組立工事費	959,040円（740円/㎡）
フィルム被覆工事費	1,555,200円（1,200円/㎡）
基礎工事費（含基礎資材）	1,684,800円（1,300円/㎡）

あわせて 13,743,840円

② パイプハウスa（日本よりの輸入資材を用いる）

216㎡のパイプハウス（プラスチックフィルム張り、鉄パイプ）を3.7棟設置する。合計設置面積は7,992㎡。基礎工事なしで、パイプ骨材組立およびフィルム張りをを行う。

所要費用は、

本体資材費	19,980,000円（2,500円/㎡）
換気装置購入費（1棟1台）	3,700,000円（100,000円/台、3.7台）
本体組立工事費	} 2,000,000円（初年度と2年度に半分ずつ） 日本人1人1カ月派遣 労務は常備者を充当
フィルム被覆工事	

あわせて 25,680,000円

うち初年度	17棟	10,880,000
		1,000,000
		(計11,880,000)
2年度	20棟	12,800,000
		1,000,000
		(計13,800,000)

③ パイプハウスb.(現地調達資材を用いる)

資材	47,000円	1棟当り
換気装置	100,000円	147,000円
工事費	aでみる	
2年度に16棟		2,352,000円

④ 大型トンネル a.(日本よりの輸入資材を用いる)

108㎡の大型トンネル(プラスチックフィルム張り,鉄材)を8本設置する。合計設置面積は864㎡(フィルム面積15,120㎡)骨材組立およびフィルム張りを行う。

所要費用は

本体資材費骨組	1,480,000円(185,000円/本)
フィルム	園芸資材費で計上
本体組立工事費	} 常勤労働者を充当
フィルム被覆工事費	
あわせて	1,480,000円(2年度)

⑤ 大型トンネル b.(現地調達資材を用いる)

資材	30,000円/本のみ
8本で	240,000円
2年度・老朽化して5年度にも	

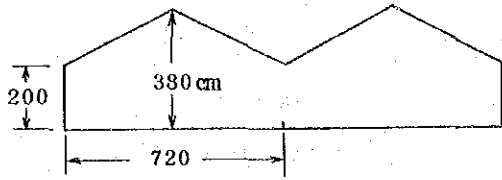
⑥ トンネル a.(日本よりの輸入資材を用いる)

54㎡のトンネルを21本設置する。合計設置面積は1,134㎡(フィルム面積15,750㎡),骨材組立およびフィルム張りを行なう。

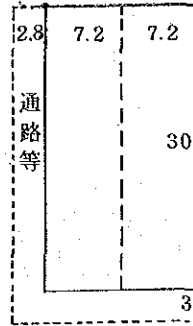
所要費用は,

本体資材費骨組	2,940,000円(140,000円/本)
フィルム	園芸資材費で計上
本体組立工事費	} 常勤労働者を充当
フィルム被覆工事費	
あわせて	2,940,000円

(施設・トンネル模式図)

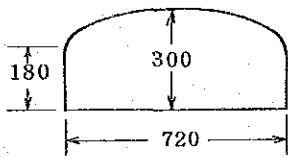


ガラス室, ビニールハウス

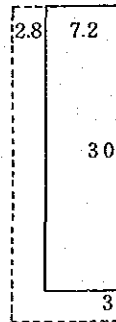


占有面積(含通路等)

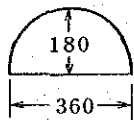
432 m²/棟 (567.6 m²)



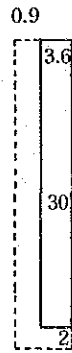
パイプハウス



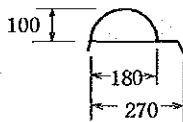
216 m²/棟 (330 m²)



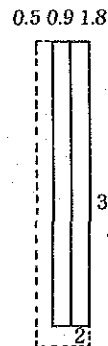
大型トンネル



108 m²/本 (144 m²)



トンネル



81 m²/本 (102.4 m²)

うち3本は87年度の設置であるが数が少ないので
86年度にまとめて購入しておく。

- ⑦ トンネル b. (現地調達資材を用いる)
- | | |
|-----|-------------|
| 資材 | 10,000円/本のみ |
| 9本で | 90,000円 |
| | 2年度, 5年度 |

4) 関連施設工事等

① 堆肥舎建設

コンクリート床, 木造, トタン屋根張りの簡易構造の堆肥舎(コンクリート床面積
220㎡)を建設する。

所要費用は, 資材費, 建設工費を含め10,000円/㎡, つまり2,200,000円

② 残渣処理施設

ほ場残渣, 廃資材処理のため以下の施設を設置する。

イ. ほ場残渣捨場

野菜の茎葉等の捨場として地表面積150㎡, 深さ2mの穴を掘る。

ロ. 廃プラスチック処理施設

煙害が出ないような場所に焼場(浅い素掘り)を設けるとともに, ほ場用地の隅に
捨場として穴を掘る。

ハ. 焼却場

可燃性の廃棄物を焼却するため浅い素掘りの穴を掘る。

残渣処理施設設置のための費用は穴掘りのための人夫賃で500円/人日×300人
日=150,000円

③ 車両・農機具等収納庫の建設

コンクリート床のプレハブ構造物(床面積40㎡)を建設する。

建設費用は, 資材費・工事費を合せ, ㎡当り20,000円, つまり800,000円。

④ 資材収納庫の建設

コンクリート床のプレハブ構造物(床面積30㎡)を建設する。

建設費用は, 資材費・工事費を合せ, ㎡当り20,000円, つまり600,000円。

⑤ 生産物収納・出荷施設の建設

生産物の収納, 出荷前の調整・梱包やハウス資材等の準備にあてるため, コンクリー
ト床のプレハブ構造物(床面積40㎡)を建設し, 上水道を引き込む。

建設費用は, 資材費・工事費を合せ, ㎡当り25,000, つまり1,000,000円。

⑥ 管理舎建設

試験管理・労務管理スタッフの執務などのため、コンクリート床、レンガ積の施設（床面積100㎡）を建設し、クーラー、上水道を設備する。

建設費用は、資材費・工事費を合せ、㎡当り35,000円、つまり3,500,000円。
本体事業でも電力需要増があり、ここでは工事費用は本体事業で計上するものとした。

⑦ 防風林設置

農場の北側、東側に防風林として、樹の植林を行う。自社育苗するが、は種箱、ポットは野菜栽培用のものを転用、労働力は常勤スタッフを充当するとして、ここでは種子購入費（ジャイアント・イビルイビルをフィリピンより5kg調達）として10,000円を計上する。

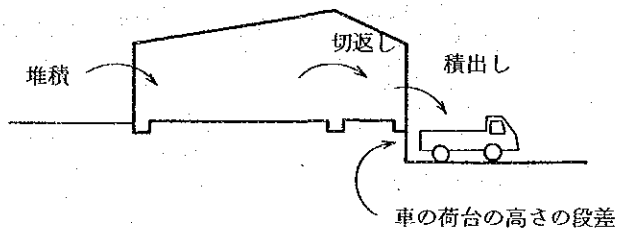
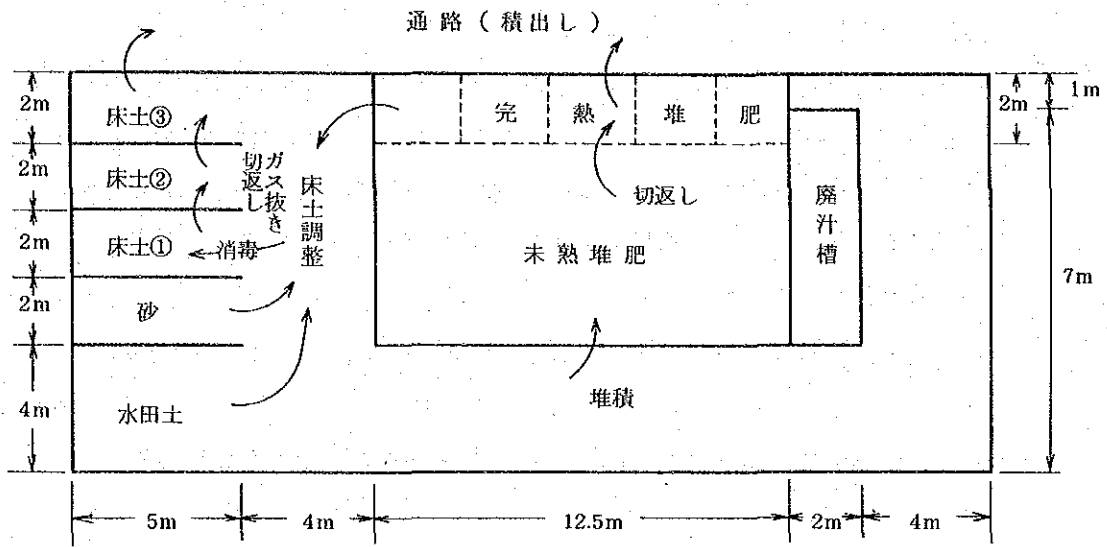
⑧ エロージョン防止措置

丘状地の切口、テラス状ほ場の段差部分、排水路周辺などを芝で被覆する。購入種子をほ場遊休地で育苗したものを移植する。

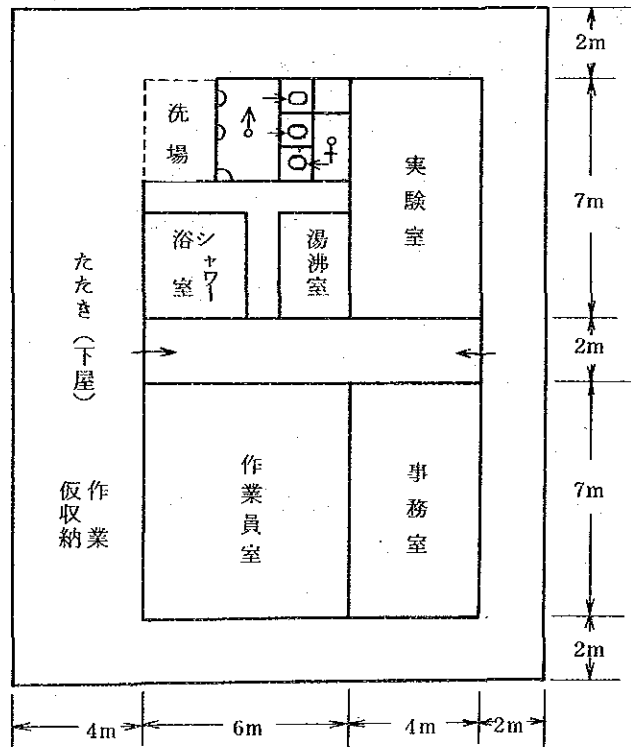
所要費用は次のとおり。

種子	20,000円
人件費	500円/人日×30人日=15,000円
あわせて	<u>35,000円</u>

堆肥施設



管理施設



5) 資機材調達

事業に用する資機材の調達先を次のように予定し、調達価格(概算)を示した。

① 農地造成等に用いる重機・車両

中国現地あるいはマカオからのリースとする。価格は農地造成の項で示した。

② 施設等建設資材

セメント, 砂, 砂利, レンガ, 電柱, 電線, 木材は現地調達, U字管はマカオ, その他は日本から購入する。価格は農地造成, 関連施設工事等の項で示した。

③ 園芸資材, 土壌改良資材

園芸施設用資材は竹を除きすべて日本とする。栽培資材(肥料・農薬など)や, 土壌改良資材は, 現地で求められるものもあるが, 目下のところ, 石灰を除き日本より調達する予定である。価格は以下に示したが, 関連項で取上げたものもある。

◦被覆用フィルム

初年度に必要な量を1年半毎に買い替える。初年度のみおよび更新時は, 大型トンネル, トンネルに用いるものを除き施設建設に含めた。P.85に年度別購入費を示した。

◦ドリップ・パイプ

初年度に必要な量を1年半毎に買い替える。当初5年間のみ使用, 以降はポリエチレンホースを用いる。

必要とするパイプの長さは20,000m

$$20,000\text{m} \times 85\text{円/m} = \underline{1,700,000\text{円}}$$

◦ポリエチレンホース

基幹となる野菜へのかん水は, ドリップパイプで行うが, ソルガム栽培などにはポリエチレンホースを用いる。2年毎に買い替える。

$$\text{ホース} \quad 500\text{m} \times 150\text{円/m} = 75,000\text{円}$$

$$\text{リール} \quad 10\text{セット} \times 3,500\text{円/セット} = 35,000\text{円}$$

$$\text{ジョウロ} \quad 15\text{セット} \times 3,000\text{円/セット} = 45,000\text{円}$$

$$\text{合計} \quad \underline{155,000\text{円}} \quad (\text{1} \sim \text{5年度,} \\ \text{6年度以降は倍} \\ \text{の310,000円})$$

◦マルチ用フィルム

初年度は用いず, 2年度以降必要とあれば被覆用フィルム(老朽化品)を充当する。

◦寒冷しゃ

一応の準備としてすべての施設・トンネルに使える量を用意する。4年ごとに買い替える。所要量は被覆地表面積の1.8倍とする。P. 86に年度別購入費を示した。

○育苗ポット

1～2年度に必要とする量の半分を毎年買い替える。P. 87に年度別購入費を示した。必要数は植付株数の1.3倍、ポットのサイズは15cm径とした。

○は種箱 初年度に必要な量を毎年買い替える。

$$200 \text{ 枚} \times 8,500 \text{ 円} / 20 \text{ 枚} = 85,000 \text{ 円}$$

○ポリひも、テープ等備品 年間10万円を計上

④ 農業機器・車両

調達先はすべて日本。

○トラック(1トン積)	1台	1,076,000円
○軽トラック(350kg積)	1台	771,000円
○トラクター(芝刈用の既存機械Ford 2060, 2台) のアタッチメント		
フロントローダ(本体)	1基	} 1,083,000円
(アースバケット)	1基	
(マニュアルフォーク)	1基	
ロータリ	1基	578,000円
ブラウ	1基	362,000円
サブソイラー	1基	193,000円
トレーラー	1台	313,000円
○耕耘機(ガソリン, 7ps)	3台	1,085,000円
○耕耘機用 すき	2台	723,000円
ロータリ	2台	417,000円
培土機	2台	24,000円
カルチベーター	2台	58,000円
○動力噴霧機	1台	422,000円
○ナップサック・スプレーヤー	5台	151,000円
○土壌消毒機(耕耘機けん引式)	1台	265,000円
○パイプハウス用穴あけ器一式	2セット	32,000円
○マルチフィルム穴あけ器	2基	12,000円

⑤ 農場用備品

調達先は※印を除き日本。

○リヤカー	10台	337,000円
○一輪車	20台	241,000円
○草刈機	4台	289,000円
○シャベル	30本	40,000円
○レーキ	10本	15,000円
○ホー	10本	15,000円
○燃料ポンプ	2本	17,000円
○タンク(ドラム缶)(※)	2本	9,000円
○グリース注入器	1本	8,000円
○電動ドリル(本体)	1台	16,000円
○同(刃)	4セット	9,000円
○脚立(180cm)	4台	51,000円
(150cm)	4台	42,000円
(90cm)	4台	28,000円

⑥ 管理舎備品

調達先は※印を除き日本。

○事務机・イス	4セット	289,000円
○会議室用机・イスセット	1セット	193,000円
○クーラー	3台	1,205,000円
○冷蔵庫	1台	80,000円
○茶器等備品(※)	1式	41,000円

⑦ 測定機器等

調達先はすべて日本。

○巻尺(100m)	5本	66,000円
○スチール巻尺(50m)	5本	72,000円
○台ばかり	2台	9,000円
○台貫	1台	53,000円
○簡易土壌検定器	1セット	46,000円
○土壌酸湿度計	1個	9,000円
○自記雨量計	1台	120,000円

◦ 自記日照計	1台	134,000円
◦ 自記温湿度計	1台	84,000円
◦ 地中最高最低温度計	10本	80,000円
◦ 最高最低温度計	5本	11,000円
◦ ビラム風速計	1台	29,000円
◦ 百葉箱	1セット	241,000円

⑧ 燃料・オイル

現地で調達。リットル当り価格は

ガソリン	138円
軽油	88円
オイル	273円

6) 年度別所要費用

農場建設、資機材調達にかかる年度別費用を次ページ以降に示した。

農場建設・施設工事	P. 82
園芸施設の設置・更新	83
資材購入	
合計	84
被覆材	85
寒冷しゃ	86
ポット	87
農機車両	88
備品購入	89, 90

[球海農場建設施設工事]

	耐用年数	1年度
農場建設		
農地造成		企業自費
土壌改良		2,136
通路設置		1,066
排水施設設置	20	1,475
かん水施設設置	20	14,000
小計		18,677
園芸施設設置		
ビニールハウス		
パイプハウス		
大型トンネル		
トンネル		
小計		
関連施設工事		
堆肥施設建設	20	2,200
残さ処理施設	20	150
車両・農機具収納庫	20	800
資材収納庫	20	600
生産物収納出荷施設	20	1,000
管理事務所	20	3,500
電気引込工事	20	企業自費
フェンス設置	20	企業自費
防風林設置	50	10
エロージョン防止	20	35
小計		8,295
合計		

詳細別紙

[園芸施設の設置・更新]

	耐用年数 価額 設置年度										10	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
ハウス6棟・日本品	20	13,744	1	13,744								
パ・ハウス17棟・日本品	10	11,680	1	11,680								
パ・ハウス20棟・日本品	10	13,800	2	13,800								
パ・ハウス16棟・現地品	5	2,352	2,7,12,17	2,352						2,352		
パ・ハウス17棟・現地品	5	2,499	11,16									
パ・ハウス20棟・現地品	5	2,940	12,17									
大トンネル8本・日本品	5	1,480	2	1,480								
大トンネル8本・現地品	3	240	2,5,8,11,14,17,20	240	240					240		
大トンネル8本・現地品	3	240	7,10,13,16,19							240		240
トンネル21本・日本品	5	2,940	1	2,940								
トンネル9本・現地品	3	90	2,5,8,11,14,17,20	90	90					90		
トンネル21本・現地品	3	210	6,9,12,15,18							210		210
合計				28,564	17,962	330	210	2,592	330	210	240	240

	耐用年数 価額 設置年度										合計		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
ハウス6棟・日本品	20	13,744	1									13,744	
パ・ハウス17棟・日本品	10	11,680	1									11,680	
パ・ハウス20棟・日本品	10	13,800	2									13,800	
パ・ハウス16棟・現地品	5	2,352	2,7,12,17	2,352						2,352		9,408	
パ・ハウス17棟・現地品	5	2,499	11,16	2,499						2,499		4,998	
パ・ハウス20棟・現地品	5	2,940	12,17	2,940						2,940		5,880	
大トンネル8本・日本品	5	1,480	2									1,480	
大トンネル8本・現地品	3	240	2,5,8,11,14,17,20	240						240		1,680	
大トンネル8本・現地品	3	240	7,10,13,16,19							240		1,200	
トンネル21本・日本品	5	2,940	1									2,940	
トンネル9本・現地品	3	90	2,5,8,11,14,17,20	90						90		630	
トンネル21本・現地品	3	210	6,9,12,15,18							210		1,050	
合計				2,629	5,502	240	330	2,739	5,622	210	240	330	68,690

[資材購入]

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(買替え年)										
園芸資材										
被覆資材	287	560	1,544	4,071	879	537	1,012	599	917	1,316
ドリツパイプ	1,700		1,700	1,700						
ポリエチレンホース	155		155		155		310		310	
寒冷シヤ	2,197	3,596			2,897			2,897		
育苗ポット	139	686	317	317	317	317	317	317	317	317
は種箱	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85
ひも・テープ等備品	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
小計	4,663	5,027	3,901	6,273	4,433	1,039	1,824	1,101	4,626	1,818

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
(買替え年)											
園芸資材											
被覆資材	219	290	632	1,226	974	309	219	613	1,316	903	18,423
ドリツパイプ											5,100
ポリエチレンホース	310		310		310		310		310		2,635
寒冷シヤ			2,897				2,897				17,361
育苗ポット	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	6,531
は種箱	85	85	85	85	85	85	85	85	85	85	1,700
ひも・テープ等備品	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	2,000
小計	1,031	792	4,341	1,728	1,786	811	3,928	1,115	2,128	1,405	53,770

〔被覆材購入〕

被覆材種類	被覆地表面積										合計
	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ス	1,296	S	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	12,960
ハ	3,672	S	3,672	3,672	3,672	3,672	3,672	3,672	3,672	3,672	36,720
ワ	4,320	S	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320	43,200
ナ	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	8,640
ト	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	11,340
計	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	113,340
被覆材必要量 (面積)	2,495	4,671	13,424	35,402	21,978	13,424	25,304	14,969	22,928	32,908	208,908
被覆資材費 (千円)	287	560	1,544	4,071	879	537	1,012	599	917	1,316	13,160

被覆材種類	被覆地表面積										合計
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
ス	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	12,960
ハ	3,672	S	3,672	3,672	3,672	S	S	3,672	3,456	3,456	34,560
ワ	4,320	S	4,320	4,320	4,320	S	S	4,320	4,320	4,320	43,200
ナ	864	864	864	864	864	864	864	864	864	864	8,640
ト	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	1,134	11,340
計	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	11,334	113,340
被覆材必要量 (面積)	5,465	7,247	15,800	30,650	24,354	7,722	5,465	15,325	32,908	22,572	355,211
被覆資材費 (千円)	219	290	632	1,226	974	309	219	613	1,316	903	18,423

* 被覆材単価は11-4年度は115円/平米、5年度からは40円/平米
 ** 必要量は被覆地表面積の2.2倍
 * 必要量はハワス、パイプの設置・更新

「1-2年度の施設設置と寒冷しゅ必要量」

	地表被覆面積		設置年度		1年度		2年度	
	1	2	1	2	1	2	1	2
ハウス6棟・日本品	1,296		1		1,296			
パ・ハウス17棟・日本品	3,672		1		3,672			
パ・ハウス20棟・日本品	4,320		2			4,320		
パ・ハウス16棟・現地品	3,456		2			3,456		
大トンネル8本・日本品	864		2			864		
大トンネル8本・現地品	864		2			864		
トンネル21本・日本品	1,134		1		1,134			
トンネル9本・現地品	486		2			486		
合計地表被覆面積	16,092				6,102	9,990		
寒冷しゅ必要量					10,984	17,982		
資材費(千円)					2,197	3,596		

3年度以降は5,913,17年度に
1-2年度の合計量(28,986千円)の半分
14,483千円、2,897千円を買いたし

**必要量は地表被覆面積の1.8倍
寒冷しゅ単価は200円/平米

[ポット購入]

	1年度		2年度	
イチゴ	(a) 栽培本数 (本)			
	a	0.2	3	4
	b	1,900	2,000	
	c			
アールスメロン	a	7	41	
	b	0.4	0.4	
	c	1,750	10,250	
ハウス型メロン	a	19	77	
	b	2.5	2.5	
	c	760	3,080	
レタス	a	3	18	
	b	0.1	0.1	
	c	3,000	18,000	
セルリ	a	3	16	
	b	0.2	0.2	
	c	1,900	8,000	
トマト	a	4	23	
	b	0.4	0.4	
	c	1,000	5,750	
ピーマン	a	7	34	
	b	0.6	0.6	
	c	1,167	5,667	
合計栽培本数		10,677	52,747	
ポット必要数		13,880	68,571	
資材費		139	686	

3年度以降は、1-2年度の合計ポット数
63,424個の半分、31,712個、317千円
を毎年買い足し

**ポット必要数は栽培本数の1.3倍

[疎海農機車両購入]

		(買替え年) 1 年度											
		2	3	4	5	6	7	8	9	10			
軽トラ	クック	1,771			771				1,076			195	195
	クック	1,083				1,083							
	クック	313			193								
耕	クック	1,085			1,085				1,085			151	151
	クック	417			417								
	クック	417			417								
	クック	285			285								
	クック	285			285								
合 計		7,565		195	3,958	1,396	195		5,974		195	195	195

		(買替え年)											
		1 1	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0		
軽トラ	クック	1,083		771								195	195
	クック	313					1,083						
	クック						313						
耕	クック	1,085										151	151
	クック	417											
	クック	417											
	クック	285											
	クック	285											
合 計		1,396		4,153			1,591	5,974		195		195	195

4. 栽培管理

栽培管理の具体的方法とそれにかかる費用は以下のとおりである。

1) 作物別栽培管理

試験処理以外の管理は、標準的方法で行うこととする。これは、導入当初は、試験で取り上げる施肥、栽植密度、仕立法以外の管理法として日本で一般的に行われている方法を導入しようというものであり、珠海の自然条件を考慮して、適宜修正が加えられる。

補完作物・緑肥を含めた対象作物の管理法概要および概算費用を次ページ以降に示した。

なお、現地で調達するとした肥料・農薬の価格を以下に示した。また、参考までに日本品の cif 珠海価格も示した。

(中 国)		参考=日本品の cif 珠海
(肥 料)		
石 炭 窒 素	1,400 円/20kg	3,000 円/20kg
苦 土 石 灰	460 円	650
硫 安	750	1,000
過リン酸石灰	900	1,200
塩 化 カ リ	1,130	1,500
高温化成(15-15-15)	1,300	2,700
(18-10-14)	1,250	2,600
よ う り ん	1,200	1,700
(農 薬)		
殺 虫 剤	~650 円/kg~	2,500 円/kg
殺 菌 剤	~650 ~	2,500
土 壤 消 毒 剤	~650 ~	1,500

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用(10a当り, イチゴ)

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
栽植密度 0.2 m ² /本					
植付本数 5,000本					
育 苗	ウィルスフリー苗	6,000本	150円/本	900,000	8人日
				30,000	
堆肥施用	堆 肥	4,000 kg			2人日
本壇耕起, 整地					8人日 15時間
基 肥	苦土石灰	120kg	460/20kg	2,760	12人日
	過 石	100kg	900/20kg	4,500	
	塩 加	20kg	1,130/20kg	1,130	
定 植					10人日
かん水・保温・換気					16人日
中耕除草					2人日
追 肥					4人日 労賃 100人日→常勤人件費 で計上
栽培管理 摘芯 摘花 交配 摘果					20人日 燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940円
防除 土壤消毒					6人日
殺菌(撒布 3回)	殺菌剤	15kg	650/kg	9,750	18時間
殺虫(同 3回)	殺虫剤	5kg	650/kg	9,750	
収穫・調製					10人日
後片付け					5人日
(小 計)				627,890	
(燃料・オイル代)				5,940	
(合 計)				(933,830)	←第1作目, それ以降は苗代を除いた 33,830円

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用(10a当り, アールスメロン系・ハネデユ系メロン)

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
栽植密度 0.4 m ² /本					
植付本数 2,500本					
育 苗 穂木は種箱には種 台木はポットには種 接木	穂木種子 台木種子	100 ml 100 ml	4,000/20ml 3,000/20ml	20,000 15,000	20 入日
堆肥施用	堆 肥	4,000kg			2 入日
本ほ耕起, 整地					10 入日 15 時間
基 肥 高度化成	苦土石灰 15-15-15	100kg 100kg	460/20kg 1,300/20kg	2,300 6,500	8 入日
定 植					8 入日
かん水・保温・換気					20 入日
中耕除草					4 入日
追 肥(2回に分施)	硫 安 過リン酸石灰 塩化カリ	40kg 45kg 15kg	750/20kg 900/20kg 1,130/20kg	1,500 2,025 848	6 入日 189人 → 常勤人件費で 計上
栽培管理 支柱立 支柱誘引 摘芯 摘花 交配 摘果					80 入日 燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940
防 除 土壌消毒(かん注1回) 殺菌(撒布5回) 殺虫(同5回)	土壌消毒剤 殺菌剤 殺虫剤	20kg 25kg 25kg	650/kg 650/kg 650/kg	13,000 16,250 16,250	6 入日 18 時間 ※入日は人力 ※時間は、耕耘機、動力防除機 時間当り燃料・オイル代は
収穫・調製					10 入日
後片付け					15 入日
(小 計)				93,673	ガソリン1ℓ (138円)×1.30 = 180円
(燃料・オイル代)				5,940	
(合 計)				(99,613)	

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用（10a当り，ハウス型メロン）

	(資 材)				(作 業)	
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)		
栽植密度 2.5 m ² /本						
植付本数 400本						
育 苗 穂木は種箱には種 台木はポットには種 接木	穂木種子	100 ml	3,500/20ml	17,500	8 入日	
	台木種子	100 ml	3,000/20ml	15,000		
堆肥施用	堆 肥	4,000 kg			2 入日	
本ほ耕起, 整地					10 入日 15 時間	
基 肥 高度化成	苦土石灰	100 kg	460/20kg	2,300	8 入日	
	15-15-15	70 kg	1,300/20kg	4,550		
定 植					4 入日	
かん水・保温・換気					20 入日	
中耕除草					4 入日	
追 肥 (2回に分施)	硫 安	25 kg	750/20kg	938	6 入日 101 入日→常勤人件費 で計上	
	過リン酸石灰	30 kg	900/20kg	1,350		
	塩化カリ	10 kg	1,130/20kg	565		
栽培管理 摘芯 摘花 交配 摘果					20 入日 燃料・オイル代 33 時間×180 円/時 = 5,940 円	
	防 除 土壤消毒(かん注1回)	土壤消毒剤	20 kg	650/kg	13,000	6 入日
	殺菌(撒布5回)	殺菌剤	25 kg	650/kg	16,250	18 時間
	殺虫(同5回)	殺虫剤	25 kg	650/kg	16,250	
収穫・調製					8 入日	
後片付け					5 入日	
(小 計)				87,703		
(燃料・オイル代)				5,940		
(合 計)				(93,643)		

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用(10a当り, レタス)

	(資材)				(作業)
	資材	所要量	単価 (円)	価格 (円)	
栽植密度 0.1 m ² /本					
植付本数 10,000本					
育苗 は種箱に種	種子	60 ml	4,000/20ml	12,000	5人日
堆肥施用	堆肥	4,000 kg			2人日
本ほ耕起, 整地					8人日 15時間
基肥 高度化成	苦土石灰 18-10-14	100 kg 50 kg	460/20kg 1,250/20kg	2,300 3,125	12人日
定植					10人日
かん水・保温・換気					16人日
中耕除草					労賃 2人日 100人日→常勤人件費 で計上
追肥 (2回に分施)	硫安 過石 塩カ	40 kg 30 kg 15 kg	750/20kg 900/20kg 1,130/20kg	1,500 1,350 848	4人日
栽培管理					20人日 燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940円
防除 殺菌(撒布 5回) 殺虫(同 5回)	殺菌剤 殺虫剤	25 kg 25 kg	650/kg 650/kg	16,250 16,250	6人日 18時間
収穫・調製					10人日
後片付け					5人日
(小計)				53,623	
(燃料・オイル代)				5,940	
(合計)				59,563	

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用（10a当り，セルリ）

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
栽植密度 0.2 m ² /本					
植付本数 5,000本					
育 苗 冷蔵庫で催芽 は種箱には種 はち上げ	種 子	60 ml	4,000/20ml	12,000	5入日
堆肥施用	堆 肥	4,000 kg			2入日
本ば耕起, 整地					8入日 15時間
基 肥 高度化成	苦土石灰	100 kg	460/20kg	2,300	12入日
	18-10-14	40 kg	1,250/20kg	2,500	
	ようりん	40 kg	1,200/20kg	2,400	
定 植					10入日
かん水・保温・換気					16入日
中耕除草					2入日 100入日→常勤人件費 で計上
追 肥 (2回に分施)	硫 安	60 kg	750/20kg	2,250	4入日
	過 石	40 kg	900/20kg	1,800	
	塩 カ	20 kg	1,130/20kg	1,130	
栽培管理					20入日 燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940円
防除 殺菌(撒布 5回)	殺菌剤	25 kg	650/kg	16,250	6入日
殺虫(同 5回)	殺虫剤	25 kg	650/kg	16,250	18時間
収穫・調製					10入日
後片付け					5入日
(小 計)				56,880	
(燃料・オイル代)				5,940	
(合 計)				(62,820)	

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用(10a当り, トマト)

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
栽植密度	0.4 m ² /本				
植付本数	2,500				
育 苗	は種箱には種 はち上げ	種 子	100 ml	5,000/20ml	25,000
堆肥施用		堆 肥	4,000 kg		2人日
本ほ耕起・整地					10人日 15時間
基 肥	高度化成	苦土石灰	100 kg	460/20kg	2,300
		15-15-15	100 kg	1,300/20kg	6,500
定 植					8人日
かん水・保温・換気					20人日
中耕除草					4人日
追 肥	(2回分施)	硫 安	50 kg	750/20kg	1,875
		過 石	35 kg	900/20kg	1,575
		塩 カ	20 kg	1,130/20kg	1,130
栽培管理	支柱立 誘引 摘芯				80人日
					燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940円
防 除	殺菌(撒布 5回) 殺虫(同 5回)	殺菌剤	25 kg	650/kg	16,250
		殺虫剤	25 kg	650/kg	16,250
収穫・調製					60人日
後片付け					20人日
(小 計)					70,880
(燃料・オイル代)					5,940
(合 計)					(76,820)

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用（10a当り，ビーマン）

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
栽植密度 0.6 m ² /本					
植付本数 1,666本					
育 苗 は種箱には種 はち上げ	種 子	60 ml	5,000/20ml	15,000	16人日
堆肥施用	堆 肥	4,000 kg			2人日
本ほ耕起, 整地					8人日 15時間
基 肥 高度化成	苦土石灰 15-15-15	100 kg 120 kg	460/20kg 1,300/20kg	2,300 7,800	12人日
定 植					10人日
かん水・保温・換気					16人日
中耕除草					労賃 2人日 266人→常勤人件費 で計上
追 肥 (2回に分施)	硫 安 過 石 塩 カ	40 kg 25 kg 15 kg	750/20kg 900/20kg 1,130/20kg	1,500 1,125 848	4人日
栽培管理					80人日 燃料・オイル代 33時間×180円/時 = 5,940円
防除 殺菌(撒布 5回) 殺虫(同 5回)	殺菌剤 殺虫剤	25 kg 25 kg	650/kg 650/kg	16,250 16,250	6人日 18時間
収穫・調製					100人日
後片付け					10人日
(小 計)				61,073	
(燃料・オイル代)				5,940	
(合 計)				(67,013)	

標準的栽培管理 必要資材・作業と費用(10a当り, ソルガム)

	(資 材)				(作 業)
	資 材	所要量	単 価 (円)	価 格 (円)	
本ほ耕起・整地					1人日 2時間
は 種	種 子	2 kg	1,000/kg	2,000	1人日
刈 取					2人日
すき込み					労賃 1人日 5時間
石灰窒素施用 (※腐熟化促進) 石灰は殺菌効果あり	石灰窒素	100 kg	1,400/20kg	7,000	1人日 燃料・オイル代 7時間×180円/時 = 1,260円
(小 計)					9,000
(燃料・オイル代)					1,260
(合 計)					(10,260)

2) 年度別栽培管理費

前項で示した栽培管理に要する費用の年度別推移を次ページに示した。

[栽培費用]

	a当費用		1年度	2	3	4	5	6年度以降
イチゴ	3	a. 面積 (a)	3	4	65	65	2	34
アールスメロン	10	b. 面積 (a)	279	12	195	195	6	102
ハウス型メロン	9	a. 面積	7	41	45	56	30	43
レタス	6	b. 面積	70	410	450	560	300	430
セロリ	6	a. 面積	19	77	68	65	54	59
トマト	6	b. 面積	171	693	612	585	486	531
ピーマン	7	a. 面積	3	18	65	71	66	69
ソルガム	1	b. 面積	18	108	390	426	396	414
			3	16	71	71	67	69
			18	96	426	426	402	414
			4	23	44	46	37	42
			32	184	352	368	296	336
			3	33	52	51	42	46
			21	231	364	357	294	322
			252	0	0	0	157	52
			252	0	0	0	157	52
合計			861	1,734	2,789	2,917	2,337	2,601

F-44

イ16
チ年た
ゴ年度
裁の以
培ソ降
費ルは
はガ、
第4ム
1は一
作適5
の踏年
みな度
9どの
3も平
千平均
円め面
て積付
栽をな
培栽の
す増で
るす際
もる準
のと年
とし(5
する
した)の
作付の

5. 販売計画

本事業での収穫物は、収穫物調査に供する若干量を除き、当面はマカオ市場に出荷される。計画に当って、収穫量は日本での標準量、販売価格は類似野菜の香港・マカオでの価格を参考としつつ、中国側の期待値等を考慮し設定した。

1) 作物別収穫量の予測

作物ごとのa当りの収穫量(出荷対象量)を下記的前提を設定して予測した。なお、気候変動や病害虫による減産はないものとした。

	1 - 3年度	4 - 5年度	6年度以降
イチゴ(KG)	90	180	180
アールスメロン(個)	110	220	220
ハウス型メロン(個)	100	200	200
レタス(KG)	150	300	405
セルリ(KG)	200	400	540
トマト(KG)	350	700	945
ピーマン(KG)	300	600	810

2) 作物別販売価格

販売予想価格を以下のように設定した。なお、本価格は、段ボール箱に梱包済みのもの
庭先価格である。

	マカオの輸入品小売価格		マカオの予想小売価格		農場渡し価格	
	(円)	(円)	(円)	(円)	(1-3年度)	(4年度以降)
イチゴ (KG)	-	1,000	350	700		
アールスメロン・ハネジュー系メロン(個)	-	900	315	630		
ハウス型メロン(個)	350-700	650	230	455		
レタス (KG)	300-500	450	160	315		
セルリ (KG)	270-420	400	140	280		
トマト (KG)	180-360	350	125	245		
ピーマン (KG)	210	200	70	140		

3) 年度別販売収入

生産物は、当初はギルフラ場・遊園地で販売（合別レストラン）することになるが
同時にマカオへの販売開始を図る。年度別・作物別販売収入を以下に示した。

			1年度	2	3	4	5	6	7年度以降
			a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)			
イチゴ	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
アールスメロン・ハネジュー系メロン	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
ハウス型メロン	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
レタス	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
セルリ	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
トマト	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
ピーマン	a. 面積 (kg/a)	b. 販売単価 (円/kg)	c. 販売数量 (個)	d. 販売収入 (千円)					
合計 (1)									
合計 (2)									

* 作物と付与との1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に
作付と1年収は年度に

4) 販売費用

収穫物の販売には種々の費用を要するが、ここでは梱包用の段ボール箱購入費のみを計上した。

年度別梱包資材費を次ページに示した。なお作物ごとの梱包法と単価は以下のとおり。

	梱包法	箱単価	
イチゴ	15円/パック=500g 80円/箱=4パック]	140円/セット 70円/KG
アールスメロン・ハネシユ系メロン	5個/箱	200円/箱	40円/個
ハウス型メロン	5個/箱	200	40円/個
レタス	10kg/箱	200	20円/KG
セロリ	10kg/箱	200	20円/KG
トマト	4kg/箱	100	25円/KG
ピーマン	5kg/箱	100	20円/KG

{梱包資材費}

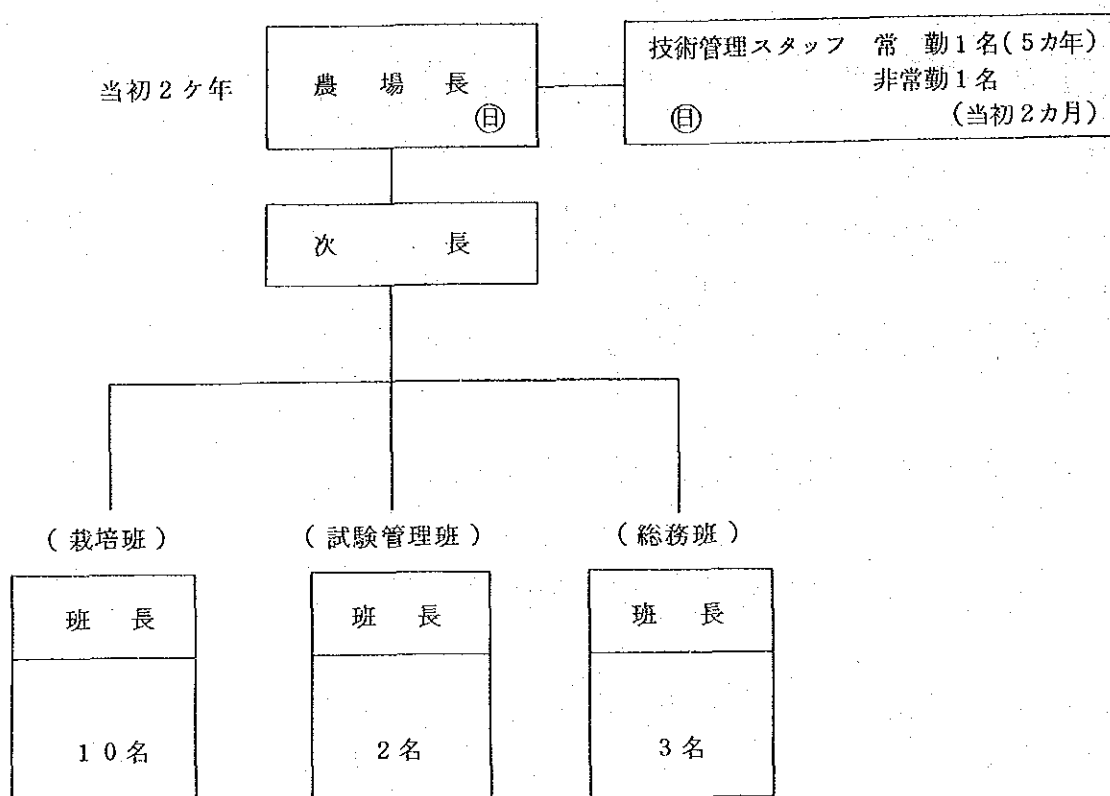
	1 年度							7年度以降
	2	3	4	5	6	7		
イテコ	3 90 70 19	4 90 70 25	65 180 70 410	65 180 70 25	180 70 25	180 70 428	34 180 70 428	
パール系・川漆シキ系メロン	7 110 40 31	41 110 40 198	56 220 40 493	30 220 40 264	30 220 40 264	43 220 40 378	43 220 40 378	
ハウス型メロン	18 100 40 76	77 100 40 308	65 200 40 520	54 200 40 432	54 200 40 432	59 200 40 472	59 200 40 472	
レタス	3 150 20 9	18 150 20 54	71 300 20 426	66 300 20 396	66 300 20 396	69 405 20 554	69 405 20 554	
セルリ	3 200 20 12	16 200 20 64	71 400 20 568	67 400 20 536	67 400 20 536	70 540 20 736	70 540 20 736	
トマト	4 350 33	23 350 201	44 700 805	37 700 648	37 700 648	42 945 992	42 945 992	
ピーマン	7 300 20 42	34 300 20 204	51 600 612	42 600 504	42 600 504	46 810 745	46 810 745	
合計	224	1,036	2,056	4,243	2,805	4,330	4,330	

6. 事業の管理

農場建設，資機材調達，栽培管理などの作業や所要費用について概述してきたが，ここでは事業の管理について述べる。

1) 管理体制

試験事業の運営，管理の人的構成は次のとおりである。



※ (H)とは日本人のこと

※ 非常勤技術管理スタッフは初年度のみ

2) 人件費, 福利厚生費

運営, 管理にかかわるスタッフの人件費(年間1人当り)を次のように設定する。

(単位: 1,000円)

	現 地 支 給	国 内 支 給	計
a. 農場長(日本人)	400×12月=4,800	400×12月=4,800	9,600
b. 同 (中国人)	400×12 =4,800	—	4,800
c. 技術管理スタッフ(常勤)	200×12 =2,400	300×12 =3,600	6,000
d. 同 (非常勤)	—	500× 2 =1,000	1,000
e. 次 長	60×13 = 780	—	780
f. 班 長	30×13 = 390	—	390
g. 一般農員	25×13 = 325	—	325

日本人スタッフの派遣を, 農場長が1~2年度, 常勤技術管理スタッフが1~5年度, 非常勤技術管理スタッフは当初2カ月のみとし, 6年度以降は全て中国人を充当(次長は2名に増員)するとした年度別人件費を次に示した。

	年 間 1人当り	初年度	2	3	4	5	6年度 以 降
a. 農場長(日本人)	9,600	10,400	9,600	cが兼務	cが兼務	cが兼務	—
b. 同 (中国人)	4,800	—	—	—	—	—	4,800
c. 技術管理スタッフ(常勤)	6,000	6,500	6,000	6,000	6,000	6,000	—
d. 同 (非常勤)	1,000	1,000	—	—	—	—	—
e. 次 長	780	845	780	780	780	780	1,560
f. 班 長	390	1,268	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170
g. 一般農員	325	5,281	4,875	4,875	4,875	4,875	4,875
(合計)		25,294	22,425	12,825	12,825	12,825	12,405
(福利厚生費)		506	449	257	257	257	248

※ 初年度は13カ月のため, dを除き13/12とした。

※ eは6年度以降2名に増員

※ 福利厚生費は人件費の2%

3) 諸運営費

① 燃料・オイル代

栽培費用には含まれないトラック、トラクターの利用にかかる燃料・オイル代を、次のように計上する。

○トラック(1トン)

年間20,000 kmとし

$$20,000 \text{ km} \div 7 \text{ km} / \ell \times 88 \text{ 円} / \ell \times 1.30 = 326,860 \text{ 円}$$

○軽トラック

年間10,000 kmとし

$$10,000 \text{ km} \div 12 \text{ km} / \ell \times 138 \text{ 円} / \ell \times 1.30 = 149,500 \text{ 円}$$

○トラクター

年間1,000時間とし

$$1,000 \text{ 時間} \times 11 \text{ } \ell / \text{時} \times 88 \text{ 円} / \ell \times 1.30 = 1,258,400 \text{ 円}$$

あわせて1,734,760円(初年度は13ヶ月あり,建設期にあるため18ヶ月分
2,602,140円を計上する。)

② 電気代

○ポンプ用モーター

年間を通し4時間/日として

$$365 \text{ 日} \times 4 \text{ 時間} / \text{日} = 1,460 \text{ 時間} / \text{年}$$

揚水ポンプ

$$1.5 \text{ kw} \times 2 \text{ 台} \times 1,460 \text{ 時間} = 4,380 \text{ kwh}$$

ブースターポンプ

$$2.2 \text{ kw} \times 1 \text{ 台} \times 1,460 \text{ 時間} = 3,212 \text{ kwh}$$

○換気扇

年間を通し4時間/日として

$$365 \text{ 日} \times 4 \text{ 時間} = 1,460 \text{ 時間} / \text{年}$$

ハウス用

$$0.7 \text{ kw} \times 12 \text{ 台} \times 1,460 \text{ 時間} = 12,264 \text{ kwh}$$

パイプハウス用

$$0.4 \text{ kw} \times 53 \text{ 台} \times 1,460 \text{ 時間} = 30,952 \text{ kwh}$$

○管理舎等の消費

年間4,000 kwh程度と見込まれる。

以上あわせて年間54,808 kwh,月にして4,567 kwhであり,月間電力料金は

基本料金	613円
使用料金	$4.567 \text{ kwh} \times 17 \text{ 円/kwh} = 77,639 \text{ 円}$
燃料付加費	$4.567 \text{ kwh} \times 3 \text{ 円/kwh} = 13,701 \text{ 円}$
1月の合計	91,953円

よって年間電気料は1,103,436円

③ 保守管理費

農地造成，土壤改良を除いた施設，機械等の投資対象となったものの維持管理，修理に要する費用を計上した。ここでは，準備年度の建設・購入に要した額の5%を年間費用とした。

④ 住宅費

常駐日本人の住宅費として1人当月250,000円を計上する。

1年度	2年度	3-5年
$250,000 \times 2 \times 13$	$250,000 \times 2 \times 12$	$250,000 \times 1 \times 12$
=6,500,000	=6,000,000	=3,000,000

⑤ 旅費

非常勤スタッフの現地出張旅費，常勤スタッフの一時帰国旅費を次のように計上する。

現地出張旅費1,000,000円(1年度のみ)

1時帰国旅費

1-2年度	$300,000 \times 1 \text{ 回} \times 2 \text{ 人} = 600,000$
3-5年度	$300,000 \times 1 \text{ 回} \times 1 \text{ 人} = 300,000$

あわせて

1年度	1,600,000円
2年度	600,000円
3-5年度	300,000

Ⅶ 資 金 計 画

1. 年度別支出

事業開始より20年間の年度別支出を次ページに示した。

20年間の事業所要資金

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
投資	18,677	17,962			330	210	2,592	330	210	240	
備蓄	28,055		72	195	5,959	1,326	1,335	403	5,974	1,359	
建設費	1,387			554	4,314	2,042	3,172	733	26	794	
材料費	4,024	1,734	791	2,273	2,337	2,691	2,601	2,144	2,626	2,601	
手数料	25,500	1,038	2,095	2,235	2,825	1,930	1,424	1,490	1,330	1,305	
管理費	2,100	1,475	1,267	1,755	1,235	1,248	1,203	1,248	1,233	1,233	
代用費	1,500	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	1,580	
小計	46,023	43,677	31,534	36,221	32,363	27,029	27,814	27,091	30,616	27,608	
合計	113,003	61,639	31,606	36,775	36,677	29,071	30,986	27,824	36,826	28,602	

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計
投資	2,829	5,502	240	330	210	2,739	5,622	210	240	330	
備蓄	1,326		4,133			1,591	5,974		185		
建設費	1,823		4,778		429	5,125	2,236		620		
材料費	6,053	5,502		330	639		11,622	210		330	
手数料	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	2,601	
管理費	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	4,330	
代用費	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	12,408	
小計	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
合計	33,074	32,284	35,109	28,048	28,415	31,926	41,540	27,315	28,938	27,725	747,383

2. 年度別所要資金とその調達

生産物の販売収入を考慮した年度別所要資金を次ページに示した。

日本側実施企業は、当初4年間の事業所要資金に国際協力事業団からの借入金を充当する希望をもっている。4年間の費用は、以下に示されるように1億9,490万円である。

	1年度 (86.3-87.3)	2年度 (87.4-88.3)	3年度 (88.4-89.3)	4年度 (89.4-90.3)	計
事業資金支出計画					
設備投資					
農場建設	18,677				18,677
園芸施設設置	28,564	17,962			46,526
関連施設工事	8,295				8,295
農機・車両購入	7,565			195	7,760
備品等購入	3,879		72	359	4,310
(小計)	66,980	17,962	72	554	85,568
運営費					
栽培費	861	1,734	2,789	2,917	8,301
園芸資材費	4,663	5,027	3,901	6,273	19,864
梱包資材費	224	1,036	2,056	4,243	7,559
人件費	25,294	22,425	12,825	12,825	73,369
福利厚生費	506	449	257	257	1,469
燃料オイル代(管理用)	2,602	1,735	1,735	1,735	7,807
電気代	1,103	1,103	1,103	1,103	4,412
保守管理費	2,670	3,568	3,568	3,568	13,374
住宅費	6,500	6,000	3,000	3,000	18,500
旅費	1,600	600	300	300	2,800
(小計)	46,023	43,677	31,534	36,221	157,455
合計	113,003	61,639	31,606	36,775	243,023
事業資金調達計画					
販売収入(A)	752	4,052	9,409	33,916	48,129
事業資金支出(B)	113,003	61,639	31,606	36,775	243,023
資金所要額(B-A)	112,251	57,587	22,197	2,859	194,894

*販売収入が前提を下回ったり、資機材などの価格上昇による支出増大が十分予想される。
この場合の資金不足や同一年度内の支出と収入の派生時期のタイム・ギャップなどによる
年度内の資金不足は自己資金にてまかなうという方針

3. 資金運用計画, 損益予測

1) 前提

試験栽培の終了した後も同一規模の事業を実施するとの前提に立ち経営計算を試みた。

本計画では, 将来の周辺への普及を意識し, 肥料・農薬は当初より現地調達品を用い, 被覆材などの施設資材は徐々に現地調達資材を多用する形をとっている。従って, 現地調達資材の価格は, 中国側珠海市当局が提示したものを採用した。現地調達の資材は, 安定価格での量的確保を懸念する向きもあるが, 日本企業側は事業実施の意義を考慮し, 調査価格とのギャップ(調査時の提示価格との差)は自己資金をもって望むとの方針をもっている。

また, 収入については, 販売価格の予測など困難な面があるが, ここでは, マカオあるいは, できれば香港に輸出するとの前提に立ち, 中国側の期待値等をも考慮して試算した。

なお, 本試験事業は, 日中合作会社により実施されるが, その資金調達および本邦企業に対する支払は, 本体事業(ゴルフ場, 遊園地)にかかる日中間協議書(合意書)の基本方針を踏襲することとなるので, 経営試算は次の諸条件を前提とした。

- 1 投資金(1-4年度)は, 運営費に向けるものも含め「投資金回収引当金」の名目で, 6-20年度に均等回収する。

これは, 当初4年間の投資は, 運営費も含め事業の資産を形成するもの(創業費)であるとの考えかたに立脚する。

日本側の回収(配当を含めた)は, 投資額を上回るまでは全額, また回収した翌年からは日本:中国=6:4で比例配分する。

- 2 施設・機械類の更新は, 事業販売収入をもって行う
- 3 資金繰上, 投資金の回収・支出の順位は次のとおり
 - a 運営費支出
 - b 施設・機械類の更新
 - c 投資金回収

4 収益と税

利益に対し33%の企業所得税(地方所得税を含む)が課される。税引後利益は, 全て配当として処理する。(なお累積欠損は5年間の繰越が認められている)また, 経済特別区の事業としての優遇策から企業所得税は年度利益が生じた第1年目は免除, その後2年間は50%免除の恩典を享受できる。

5 利益配当

投資金回収引当金との合計が, 日本側の出資総額を越えるまでは日本:中国

= 8 : 2

越えた後は 6 : 4 で比例配分

2) 試算結果

前節の前提に基づき試算した資金運用計画・損益予測をP. 114, 115に示した。

本試算は、本事業を本体事業（ゴルフ場、遊園地）から切離した独立事業とみなしたものであり、実際には、JICA借入金以外の資金、例えば販売収入などの運用は、本体事業との関連で処理されることになる。

本試算における資金回収額をP.116に示した。これは、試験的事業資金の借入に伴なり借入金返済および金利（P. 117）の合計額を約1,000万円上回る結果となる。

損益予測

	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
販売収入					39,244	43,140	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	781,544
運営費	0	0	0	0	32,363	27,029	27,814	27,091	30,616	27,806		451,686
経常損益	0	0	0	0	6,881	16,111	22,126	22,849	19,324	22,132		329,858
減価償却費(創業時投資分)	0	0	0	0	0	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993		194,894
減価償却費(更新投資分)	0	0	0	0	1,114	1,549	2,285	2,339	2,596	2,591		50,065
当期損益	0	0	0	0	5,767	1,569	6,848	7,517	3,735	6,548		84,899
累計損益	0	0	0	0	5,767	7,336	14,184	21,701	25,436	31,984		24,720
企業所得税	0	0	0	0	0	259	1,130	2,481	1,233	2,161		4,387
税引後損益	0	0	0	0	5,767	1,310	5,718	5,036	2,502	4,387		4,387
税引後累計損益	0	0	0	0	5,767	7,077	12,795	17,831	20,333	24,720		4,387
税引後当期純損益	0	0	0	0	5,767	1,310	5,718	5,036	2,502	4,387		4,387
税引後当期未処分損益	0	0	0	0	5,767	1,310	5,718	5,036	2,502	4,387		4,387
立替当座(含送金税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
現金当座(含送金税)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
次期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
合計	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940		49,940
販売収入	27,021	26,782	30,331	27,718	27,776	26,801	29,918	27,105	28,118	27,395		451,686
運営費	22,919	23,158	19,609	22,222	22,164	23,139	20,022	22,835	21,822	22,545		329,858
経常損益	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993		194,894
減価償却費(創業時投資分)	3,234	3,816	3,820	3,814	3,819	3,818	3,820	3,820	3,819	3,809		50,065
減価償却費(更新投資分)	6,692	6,347	2,796	5,415	5,352	6,328	3,209	6,022	5,010	5,744		84,899
当期損益	38,676	45,023	47,819	53,234	58,586	64,914	68,123	74,145	79,155	84,899		24,726
累計損益	2,208	2,095	923	1,787	1,766	2,098	1,059	1,967	1,653	1,896		60,173
企業所得税	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848		60,173
税引後損益	29,204	33,456	35,329	38,957	42,543	46,783	48,953	52,968	56,325	60,173		60,173
税引後累計損益	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848		60,173
税引後当期純損益	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848		60,173
税引後当期未処分損益	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848		60,173
立替当座(含送金税)	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848		60,173
現金当座(含送金税)	3,587	3,850	1,375	2,726	2,848	3,592	1,430	3,228	2,886	2,671		6,804
配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
次期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0

* 164年度の標準的減価償却費は、創業時投資と更新投資とを合せて減価償却費として
 * 164年度の標準的減価償却費は、創業時投資と更新投資とを合せて減価償却費として
 * 164年度の標準的減価償却費は、創業時投資と更新投資とを合せて減価償却費として

資金運用計画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
収入										
出資金 (JICA借入金)	112,251	57,587	22,197	2,859	0	0	0	0	0	0
(自己資金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収入	752	4,052	9,409	33,916	39,244	43,140	49,940	49,940	49,940	49,940
前期より繰越	0	0	0	0	0	2,567	3,384	8,215	14,857	13,412
(合計)	113,003	61,639	31,606	36,775	39,244	45,707	53,324	58,155	64,797	63,352
支出										
設備投資	66,980	17,962	72	554	4,314	2,042	3,172	733	6,210	794
運営費	46,023	43,677	31,534	36,221	32,363	27,029	27,814	27,091	30,616	27,808
投資金回収引当金	0	0	0	0	0	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993
企業所得税	0	0	0	0	0	259	1,130	2,481	1,233	2,161
配当金支払	0	0	0	0	0	0	0	0	333	4,367
(合計)	113,003	61,639	31,606	36,775	36,677	42,323	45,109	43,298	51,385	48,143
当期収差	0	0	0	0	2,567	3,384	8,215	14,857	13,412	15,209
(次期へ繰越)										

	1	1	1	2	1	3	1	4	1	5	1	6	1	7	1	8	1	9	2	0	合計	
収入																						
出資金 (JICA借入金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	194,894	
(自己資金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
販売収入	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	49,940	829,673	
前期より繰越	15,209	12,390	10,706	9,748	13,232	16,412	15,105	7,303	10,913	13,912	167,365	65,149	62,330	60,646	59,688	63,172	66,352	65,045	57,243	60,853	63,652	1,191,932
(合計)	65,149	62,330	60,646	59,688	63,172	66,352	65,045	57,243	60,853	63,652	1,191,932	65,149	62,330	60,646	59,688	63,172	66,352	65,045	57,243	60,853	63,652	1,191,932
支出																						
設備投資	6,053	5,502	4,778	330	639	5,125	11,622	210	820	330	138,242	27,021	26,782	30,331	27,718	27,776	26,801	29,918	27,105	28,118	27,395	609,141
運営費	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	12,993	189,698
投資金回収引当金	2,208	2,095	923	1,787	1,766	2,088	1,059	1,987	1,653	1,896	24,726	4,484	4,252	1,873	3,628	3,586	4,240	2,150	4,035	3,357	3,848	40,173
企業所得税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配当金支払	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(合計)	52,759	51,624	50,898	46,456	46,760	51,247	57,742	46,330	46,941	41,265	1,001,980	52,759	51,624	50,898	46,456	46,760	51,247	57,742	46,330	46,941	41,265	1,001,980
当期収差	12,390	10,706	9,748	13,232	16,412	15,105	7,303	10,913	13,912	22,587	189,952	12,390	10,706	9,748	13,232	16,412	15,105	7,303	10,913	13,912	22,587	189,952
(次期へ繰越)																						

資金回収

年度	出資金回収引当金	配当対象額	配当率	配当金(税込)	配当金(税引後)	年度回収額	累計回収額
1							
2							
3							
4							
5							
6	12,993					12,993	12,993
7	12,993					12,993	25,986
8	12,993					12,993	38,979
9	12,993	333	0.8	266	239	13,232	52,211
10	12,993	4,387	0.8	3,510	3,159	16,152	68,363
11	12,993	4,484	0.8	3,587	3,228	16,221	84,584
12	12,993	4,252	0.8	3,402	3,062	16,055	100,639
13	12,993	1,873	0.8	1,498	1,348	14,341	114,980
14	12,993	3,628	0.8	2,902	2,612	15,605	130,585
15	12,993	3,586	0.8	2,869	2,582	15,575	146,160
16	12,993	4,240	0.8	3,392	3,053	16,046	162,206
17	12,993	2,150	0.8	1,720	1,548	14,541	176,747
18	12,993	4,035	0.8	3,228	2,905	15,898	192,645
19	12,993	3,357	0.8	2,686	2,417	15,410	208,055
20	12,992	3,848	0.6	2,309	2,078	15,070	223,125
	194,894	40,173		31,369	28,231	223,125	223,125

* 日本側の回収である

* 20年度の投資金回収引当金は、19年度までの累計回収額が投資額（194,894千円）を越えるため配当率と同一の配分、すなわち、日本側は60%分の回収となる

* 20年間の累計回収額（223,125千円）は、日本側の借入額および金利（0.75%）を合せた額（213,067千円）を10,058千円上回る

借入金返済・利子支払

年度	借入金	残高	返済額	利子
1	112,251	112,251		842
2	57,587	169,838		1,274
3	22,197	192,035		1,440
4	2,859	194,894		1,462
5		194,894		1,462
6		181,901	12,993	1,462
7		168,908	12,993	1,364
8		155,915	12,993	1,267
9		142,922	12,993	1,169
10		129,929	12,993	1,072
11		116,936	12,993	974
12		103,943	12,993	877
13		90,950	12,993	780
14		77,957	12,993	682
15		64,964	12,993	585
16		51,971	12,993	487
17		38,978	12,993	390
18		25,985	12,993	292
19		12,992	12,993	195
20		0	12,992	97
			194,894	18,173

[減価償却費（更新分合計）]

	1年度									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
減価償却費(1)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
減価償却費(2)	*	*	*	*	110	180	730	730	730	730
減価償却費(3)	*	*	*	*	241	521	521	521	773	769
減価償却費(4)	*	*	*	*	749	749	814	812	814	814
減価償却費(5)	*	*	*	*	14	91	212	258	261	259
減価償却費(6)	*	*	*	*	*	8	8	8	8	9
減価償却費(7)	*	*	*	*	*	*	*	10	10	10
合計	*	*	*	*	1,114	1,549	2,285	2,339	2,596	2,591

	1年度										合計	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
減価償却費(1)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
減価償却費(2)	1,232	1,818	1,818	1,818	1,817	1,820	1,818	1,818	1,818	1,818	1,817	20,804
減価償却費(3)	773	773	773	773	769	773	773	773	773	773	769	11,068
減価償却費(4)	814	812	814	814	814	812	814	814	814	814	812	12,886
減価償却費(5)	260	260	260	258	263	258	260	260	259	259	259	3,692
減価償却費(6)	137	137	137	137	138	137	137	137	137	137	133	1,408
減価償却費(7)	18	18	18	14	18	18	18	18	18	18	19	207
合計	3,234	3,818	3,820	3,814	3,819	3,818	3,820	3,820	3,819	3,819	3,809	50,065

[減価償却費更新分(2)]

耐用年数	1年度										合計
	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
A ハウス6棟・日本品	13,744*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	730
B バ・ハウス17棟・日本品	11,880*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	730
C バ・ハウス20棟・日本品	13,800*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	730
D バ・ハウス16棟・現地品	2,352*	*	*	*	2,352	470	470	470	470	470	470
E バ・ハウス17棟・現地品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	470
F バ・ハウス20棟・現地品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	470
G 大トンネル8本・日本品	1,480*	*	*	240	*	*	240	80	80	80	240
H 大トンネル8本・現地品	240*	*	*	80	80	80	80	80	80	80	80
I 大トンネル8本・現地品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	80
J トンネル21本・日本品	2,940*	*	*	*	*	30	30	30	30	30	30
K トンネル9本・現地品	90*	*	*	30	210	70	70	70	70	70	70
L トンネル21本・現地品	*	*	*	*	180	730	730	730	730	730	730

*印は出資金回収当金として処理

減価償却費(2)

耐用年数	1年度										合計
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
A ハウス6棟・日本品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	13,744*
B バ・ハウス17棟・日本品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	11,880*
C バ・ハウス20棟・日本品	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	13,800*
D バ・ハウス16棟・現地品	2,352	470	470	470	470	472	2,352	470	470	470	9,406
E バ・ハウス17棟・現地品	472	500	500	500	499	2,499	500	500	500	499	6,998
F バ・ハウス20棟・現地品	2,500	2,500	568	568	568	568	2,940	568	568	568	4,998
G 大トンネル8本・日本品	2,940	90	90	90	90	90	90	90	90	90	5,660
H 大トンネル8本・現地品	240	80	80	80	80	240	240	80	80	80	1,280
I 大トンネル8本・現地品	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	1,280
J トンネル21本・日本品	90	30	30	30	30	30	30	30	30	30	1,120
K トンネル9本・現地品	30	210	70	70	70	70	70	70	70	70	1,120
L トンネル21本・現地品	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	2,940*

減価償却費(2)

[減価償却費 更新分 (3)]

		1 年 度										合 計
		2	3	4	5	6	7	8	9	10		
耐用年数		2	3	4	5	6	7	8	9	10		
トラック	(1)	1,076	*	*	*	*	*	*	1,076	135		
軽トラック	(1)	771	*	*	771	193	193	*	771	193		
トラック-アタッチメント	(1)	1,083	*	*	*	1,083	217	217	217	215		
フロントローダ	(1)	578	*	*	*	*	*	*	578	72		
プラウ	(1)	362	*	*	*	*	*	*	362	45		
サブソイラー	(1)	193	*	*	193	48	48	49	193	48		
トレイラー	(1)	313	*	*	313	63	63	63	63	61		
減価償却費 (3)		*	*	*	241	521	521	521	773	769		

* 印は出資金回収引合金として処理

		1 1 年 度										合 計
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
耐用年数		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
トラック	(1)	135	135	135	135	135	131	1,076	135	135	135	3,228
軽トラック	(1)	193	192	193	193	193	192	771	193	193	192	1,616
トラック-アタッチメント	(1)	1,083	217	217	217	215	1,083	217	217	217	215	3,084
フロントローダ	(1)	72	72	72	72	72	74	578	72	72	72	4,332
プラウ	(1)	45	45	45	45	45	47	362	45	45	45	1,734
サブソイラー	(1)	48	49	48	48	48	49	193	48	48	49	1,086
トレイラー	(1)	313	63	63	63	61	313	48	63	63	61	2,522
減価償却費 (3)		773	773	773	773	769	773	773	773	773	769	11,068

[減価償却費 更新分(4)]

耕種機	耐用年数	I年度											
		2	3	4	5	6	7	8	9	10			
耕種機	(3)	1,085	*	*	*	1,085	271	271	271	272	1,085	271	271
すき	(2)	723	*	*	*	723	181	181	181	180	723	181	181
ロータリー	(2)	417	*	*	*	417	104	104	104	105	417	104	104
培土機	(2)	24	*	*	*	24	6	6	6	6	24	6	6
カルチベーター	(2)	58	*	*	*	58	15	15	15	13	58	15	15
土壌消毒機	(1)	265	*	*	*	265	66	66	66	67	265	66	66
動力噴霧器	(1)	422	*	*	*	422	106	106	106	104	422	106	106
肩掛スプレーヤ	(5)	151	*	*	*	151	32	32	32	32	151	32	32
パイプ穴あけ器	(2)	32	*	*	*	32	11	11	11	11	32	11	11
マルチ穴あけ器	(2)	12	*	*	*	12	4	4	4	4	12	4	4
減価償却費(4)		*	*	*	*	749	749	749	749	812	814	814	814

*印は出資金回収相当金として処理

耕種機	耐用年数	I年度										合計			
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
耕種機	(3)	271	272	1,085	271	271	271	271	271	271	271	271	271	272	5,425
すき	(2)	181	180	723	181	181	181	181	181	181	181	181	181	180	4,340
ロータリー	(2)	104	105	417	104	104	104	104	104	104	104	104	104	105	2,083
培土機	(2)	6	6	24	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	1,120
カルチベーター	(2)	15	13	58	15	15	15	15	15	15	15	15	15	13	290
土壌消毒機	(1)	66	67	265	66	66	66	66	66	66	66	66	66	67	2,325
動力噴霧器	(1)	106	104	422	106	106	106	106	106	106	106	106	106	104	1,060
肩掛スプレーヤ	(5)	50	51	151	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	2,657
パイプ穴あけ器	(2)	11	10	32	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	704
マルチ穴あけ器	(2)	4	4	12	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1,150
減価償却費(4)		814	812	814	814	814	814	814	814	814	814	814	814	812	12,866

[減価償却費 更新分 (5)]

減価償却費 更新分 (5)	耐用年数									
	1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10
農機具										
一輪車	337*	*	*	*	*	*	*	337	48	48
刈払機	241*	*	*	*	*	241	48	48	48	48
シャベル	289*	*	*	*	*	289	96	96	96	96
レーキ、ホ-	40*	*	*	*	*	40	13	13	14	13
燃料ポンプ	30*	*	*	*	*	30	10	10	10	10
燃料タンク	17*	17	*	*	*	17	8	8	17	8
グリース注入器	9*	*	*	*	*	9	2	2	2	1
電動ドリル (本体)	8*	*	*	*	*	8	2	2	1	1
(刃)	16*	*	*	*	*	16	3	3	3	4
脚立 (180cm)	9*	*	*	*	*	9	5	5	5	4
(150cm)	51*	*	*	*	*	51	10	10	10	11
(90cm)	42*	*	*	*	*	42	8	8	8	10
	28*	*	*	*	*	28	6	6	6	4
減価償却費 (5)						91	212	258	261	259

*印は出資金回収引合金として処理

減価償却費 (5)	耐用年数										合計
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
農機具											
一輪車	48	48	48	49	337	48	48	48	48	48	48
刈払機	241	48	48	48	49	241	48	48	48	48	48
シャベル	96	97	289	96	97	289	96	97	96	96	96
レーキ、ホ-	13	14	40	13	14	40	13	14	40	13	13
燃料ポンプ	10	10	30	10	10	30	10	10	30	10	10
燃料タンク	17	8	17	8	17	8	8	8	17	8	8
グリース注入器	9	2	9	2	9	2	2	2	9	2	1
電動ドリル (本体)	8	2	8	2	8	2	2	2	8	2	1
(刃)	16	3	16	3	16	3	3	3	16	3	4
脚立 (180cm)	9	4	9	4	9	4	4	4	9	4	4
(150cm)	51	10	51	10	51	10	10	10	51	10	11
(90cm)	42	8	42	8	42	8	8	8	42	8	10
	28	6	28	6	28	6	6	6	28	6	4
減価償却費 (5)	260	260	260	258	263	258	260	260	259	259	259
											3,692

[減価償却費 更新分(6)]

事業所 事務機・イス 会議用・イス クレーラ 冷蔵庫 茶器等備品 減価償却費(6)	耐用年数	1年度										10	
		2	3	4	5	6	7	8	9				
(4)	20		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
(1)	20		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
(3)	10		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
(1)	10		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
(1)	5		*	*	*	*	41	8	8	8	8	8	8
			*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

*印は出資金回収引当金として処理

事業所 事務機・イス 会議用・イス クレーラ 冷蔵庫 茶器等備品 減価償却費(6)	耐用年数	11										合計		
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
(4)	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	289
(1)	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	193
(3)	10	1,205	121	121	121	121	121	121	121	121	121	121	116	2,410
(1)	10	121	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	1,205
(1)	5	41	8	8	8	41	8	8	8	8	8	8	8	160
		137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	137	133	1,408

[減価償却費 更新分 (7)]

測定機器等	耐用年数	1年度												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
レスコン巻尺(100m) (5)	7	66						*			66	10	10	
スチール巻尺(50m) (5)	10	72						*			*	*	*	*
秤(5kg) (2)	10	9						*			*	*	*	*
台質(100kg) (1)	20	53						*			*	*	*	*
簡易土壌検定器 (1)	2	46						46			*	*	*	*
土壌酸湿度計 (1)	5	9						*			*	*	*	*
自記雨量計 (1)	10	120						*			*	*	*	*
自記日照計 (1)	10	134						*			*	*	*	*
自記湿度計 (1)	10	84						*			*	*	*	*
地中最高最低温度計 (10)	5	80						*			*	*	*	*
最高最低温度計 (5)	5	11						*			*	*	*	*
ピラム風速計 (1)	10	29						*			*	*	*	*
百葉箱 (1)	20	241						*			*	*	*	*
減価償却費 (7)		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10	10	10

* 印は出資金回収引当金として処理

測定機器等	耐用年数	1年度										合計			
		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
レスコン巻尺(100m) (5)	7	10	10	10	6	66	10	10	10	10	10	10	10	10	198
スチール巻尺(50m) (5)	10	72	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	128
秤(5kg) (2)	10	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	144
台質(100kg) (1)	20	1	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	180
簡易土壌検定器 (1)	2	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	53
土壌酸湿度計 (1)	5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	92
自記湿度計 (1)	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	9
自記雨量計 (1)	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	120
自記日照計 (1)	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	134
自記湿度計 (1)	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	84
地中最高最低温度計 (10)	5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	80
最高最低温度計 (5)	5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	11
ピラム風速計 (1)	10	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	29
百葉箱 (1)	20	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	241
減価償却費 (7)		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	10	10	10	207

JICA